

## 第 3 期南部地域社会実験運行について

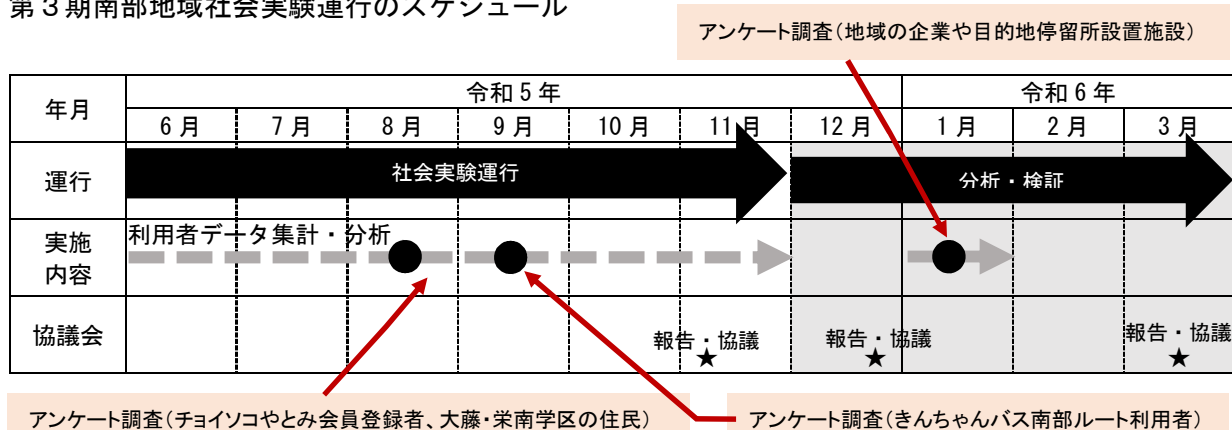
### 1-1 第 3 期南部地域社会実験運行の概要（再掲）

- ・運行期間：令和5年6月2日（金）～令和5年11月28日（火）
- ・運行日時：祝日を含む火曜日および金曜日 9:00～16:00  
※稼働日数は6月：9日、7月：8日、8月：9日、9月：9日
- ・乗車受付：電話（祝日を含む火曜日および金曜日の8:30～16:00）とインターネットでの予約（24時間対応）
- ・運賃：一般（大人）/400円、小学生から高校生/200円、障がい者（手帳所有者）/200円、未就学児：無料  
※同乗者割引あり（同乗者の運賃を通常運賃の半額とする割引制度）  
※障がい者の同伴者は一般料金とし、障がい者と同乗する場合、同乗者割引を適用する
- ・運行車両：1台（定員8名）
- ・第 3 期南部地域社会実験運行の評価・検証
  - 社会実験運行目標：社会実験運行目標とは本格運行するか否かを確認するための指標  
→公共交通利用者数の増加（既存南部ルート＋第3期社会実験運行の利用者数が、実験前の既存南部ルート利用者数よりも増加しているかどうか）

○検証項目：本格運行に向けて市民や事業者の実態を把握するための項目

対象	検証方法	検証内容	備考
チョイソコやとみ利用者	・(株)アイシンが集計している利用者データより利用状況の把握・集計	・1日当たりの利用者数：15人 ・実験期間内の会員登録数：500人 ・乗合率：1.5～2.0	毎月集計
チョイソコ会員登録者	・アンケート調査より把握 ※チョイソコ通信の送付時に同封し実施	・利用者ニーズの把握	8月にアンケート調査実施済み
大藤・栄南学区の住民	・アンケート調査より把握	・チョイソコやとみの認知度及び利用に関わる現状	8月にアンケート調査実施済み
きんちゃんバス南部ルート利用者	・アンケート調査より把握	・きんちゃんバスからチョイソコやとみへの転換可能性	9月にアンケート調査実施済み
地域の企業や目的地停留所設置施設	・アンケート調査より把握	・チョイソコやとみの協賛金への関心度	1月にアンケート調査実施予定

### 第 3 期南部地域社会実験運行のスケジュール



## 1-2 協賛金意向に関するアンケート調査

### (1) 調査概要

アンケートの調査概要は以下のとおりである。市内の対象とした72の企業・施設に協賛金に関するアンケートを実施した結果、25の企業・施設から回答が得られた。

表：アンケート調査の概要

項目	調査内容・方法
調査対象	・社会実験運行開始前に目的地停留所の設置を依頼した企業・施設 ・市のHPや広報、回覧板のスポンサーとなっている企業・施設 計72 企業・施設
調査時期	2024年1月29日(月)～2024年2月13日(火)
調査方法	郵送による配布・回収
回収数(回収率)	25票(34.7%)

### (2) 依頼票と調査票

本調査で対象企業・施設に配布した、アンケート依頼票と調査票を次項以降に示す。チョイソコやとみへの理解を深めてもらうため、依頼票でチョイソコとは何かやエリアスポンサーについて、協賛金に協力した場合のインセンティブ例、「チョイソコやとみ」の運行実績などを説明したうえで、アンケート調査を実施した。



## 本市の公共交通に に関するアンケート調査



以下の案内文と次項以降  
の内容を読んだうえで、  
ご回答ください

令和6年1月

弥富市地域公共交通活性化協議会

会長 弥富市長

安藤正明

本市では、市内の公共交通網の再編に向けた1つの手段として、利用者の需要に応じて運行するデマンド交通の導入を検討しています。そこで、デマンド交通を知っていただき、利用体験を通じて、地域の方々に評価していただく機会として、デマンド交通である「チョイソコやとみ」の社会実験運行を令和5年6月2日（金）から令和5年11月28日（火）の約半年間、大藤・栄南学区を対象に実施しました。

現在、約半年に及び社会実験運行を終え、市民や利用者を対象に実施したアンケート調査結果や利用実績、運行経費等をもとに、デマンド交通の導入可能性や公共交通網の再編方針について複数の視点から総合的に検討を進めているところです。特に、デマンド交通の導入を検討するにあたり、運行経費の負担方法について、先行事例をもとに様々な可能性から検討を進めているところです。

本市で導入した「チョイソコ」ですが、他市町村の事例では、地元企業や目的地停留所となっている施設からの協賛金を募り、その協賛金と市の負担によって運行している自治体もあります。

そこで、デマンド交通の導入可能性や公共交通網の再編方針について検討していくうえでの基礎資料とすべく、協賛金の意向に関するアンケート調査を実施させていただきます。

つきましては、皆様には、お忙しいところを誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますようお願いいたします。

なお、回答していただいた事項についてはすべて統計的に処理しますので、個人が特定されるような内容は一切公表いたしません。また、ご回答いただいた調査票は、この目的以外には使用いたしません。

1. 調査対象者：社会実験運行開始前に目的地停留所の設置を依頼した企業・施設、市のHPや広報、回覧板のスポンサーとなっている企業・施設
2. アンケート回収：2月13日（火）までに同封の返信用封筒に入れ、ご郵送いただくか、下記の問い合わせ先までご持参ください。

### ■ 記入上のご注意

- ・回答は、該当する番号に○印をつけてください。質問によっては一つだけ選ぶものや複数を選ぶものがありますので、指示に従ってください。
- ・（ ）には、数字や文字をご記入ください。

### －アンケート調査についてのお問い合わせ先－

弥富市地域公共交通活性化協議会事務局

（弥富市役所 市民協働課）

TEL：(0567) 65-1111 内線 7062

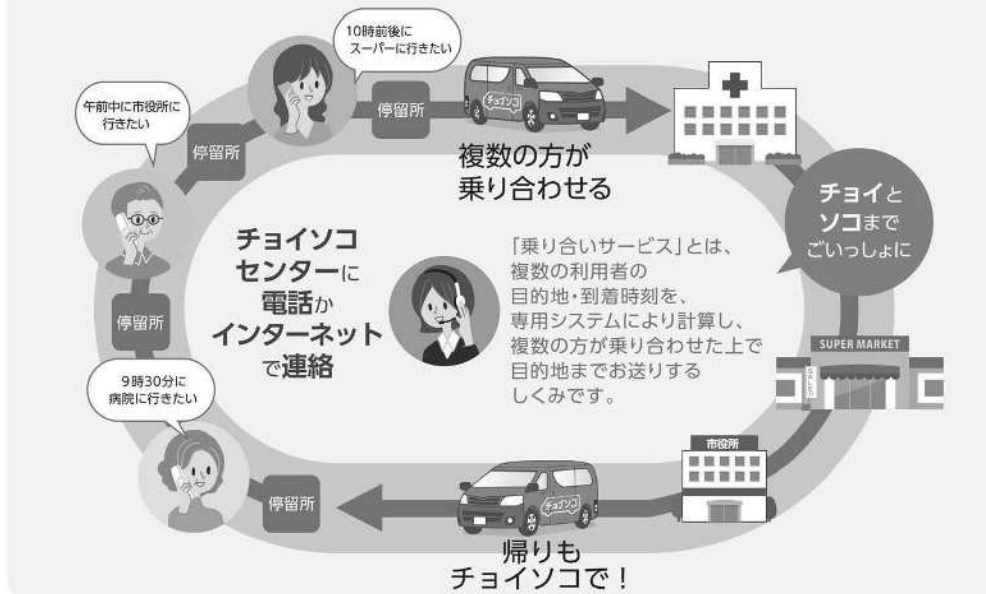
FAX：(0567) 67-4011

### ◎「チョイソコ」とは？

- ・「チョイソコ」とは、「チョイとソコまでごいっしょに」を合言葉に株式会社アイシンが事業を展開する、乗り合い送迎サービス（デマンド交通）です！
- ・全国で75の自治体で導入されており（2024年1月時点）、地域密着型の公共交通として近年全国各地で導入されています！



### 乗り合い送迎サービスのしくみ



### ◎「チョイソコ」の特長

- ・地域の交通不便を解消し、主に高齢者の外出促進に貢献するデマンド交通
- ・従来のデマンド型交通と異なり、エリアスポンサーによる協賛を得ることで採算性を向上
- ・単なる運行のシステム提供に留まらず、高齢者の健康増進につながる外出促進の“コト”づくりを推進
- ・会員向け会報誌「チョイソコ通信」を発行し、エリアスポンサーの販促・広報宣伝に活用（会員に毎月郵送）

## ◎「エリアスポンサー」とは？

- ・「エリアスポンサー」とは、「チョイソコ」を導入した場合に、「チョイソコ」の協賛金によって地域貢献する、地域の民間事業者のことです。
- ・「エリアスポンサー」は協賛することによって、“停留所の設置が可能”等のインセンティブが得られます。
- ・「エリアスポンサー」には協賛の程度によって、「シルバー」「ゴールド」「プラチナ」に区分され、区分に対応したインセンティブが得られます。(以下豊明町の事例)



### Point

## ◎インセンティブ例（他市町村の事例をもとに）

- ・停留所の設置が可能で、好みの停留所名の設定が可能
  - ・会員向け会報誌「チョイソコ通信」による販促・広報宣伝が可能（会員に毎月郵送）
  - ・会員向け会報誌「チョイソコ通信」や「チョイソコ」特設HP等にエリアスポンサーとして紹介し、活動の周知が可能
  - ・「チョイソコ」の車両へ会社名やロゴのラッピングが可能
  - ・「チョイソコ」のポスターへ会社名やロゴの記載が可能
  - ・「チョイソコ」と施設の利用を目的としたイベントの実施が可能
  - ・協賛額に応じた記念の盾を贈呈
- 企業・施設の認知度の向上や企業・施設を訪れる人の増加が期待される

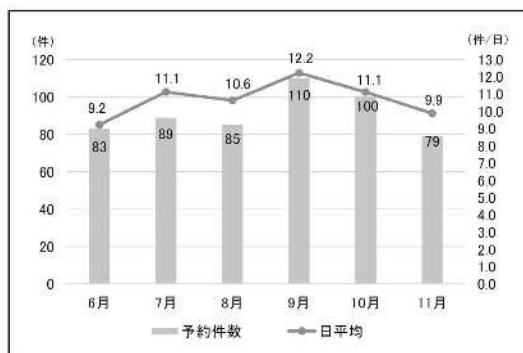
## ◎「チョイソコやとみ」の運行概要と結果

### 【運行概要】

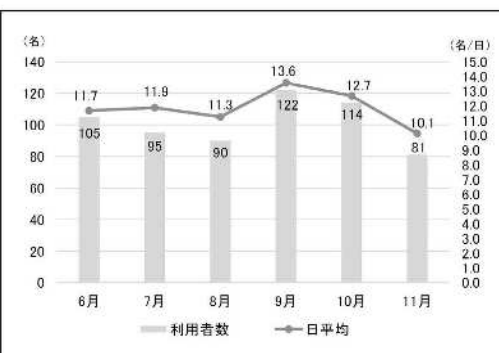
- ・運行期間：令和5年6月2日（金）～令和5年11月28日（火）
- ・運行日時：祝日を含む火曜日および金曜日  
9:00～16:00
- ・運賃：一般（大人）/400円、小学生から高校生/200円、障がい者（手帳所有者）/200円、未就学児：無料

### 【運行結果】

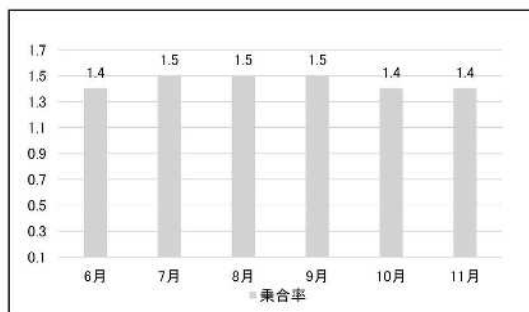
- ・予約件数：546件（1日あたり、約11件）
- ・利用者数：607名（1日あたり、約12名）
- ・乗合率：1.5
- ・総走行距離：6,630km
- ・運賃収入：192,700円 ※うち、無料券が25,800円
- ・運行経費：8,684,170円 ※利用者1名あたりの運行経費：14,307円



図：予約件数の推移



図：利用者数の推移



図：乗合率の推移

アンケートへご協力  
よろしくお願いします！

**I 協賛金（エリアスポンサー）について**

**問1** チョイソコやとみを本格導入した際に、エリアスポンサーとして協賛金にご協力いただけますか。（1つだけに○）

1. はい ⇒問2、問3、問4へ      2. いいえ ⇒問5、問6へ  
3. わからない（未定） ⇒問6へ

**↓↓↓ 問1で1.を回答した人のみ(問2～問4) ↓↓↓**

**問2** 協賛金へ前向きな理由を以下にご記入ください。


**問3** 協賛金として支援いただける具体的な金額を教えてください。（1つだけに○）

1. 3,000円未満/月      2. 3,000～5,000円/月      3. 5,000～10,000円/月  
4. 10,000～20,000円/月      5. 20,000～30,000円/月      6. 30,000～40,000円/月  
7. 40,000～50,000円/月      8. それ以上（具体的な金額：\_\_\_\_\_円/月）

**問4** 案内文で紹介したインセンティブ（メリット）の例以外に魅力を感じるインセンティブがあれば教えてください。


**↓↓↓ 問1で2.を回答した人のみ(問5) ↓↓↓**

**問5** 現時点で協賛金に前向きではない理由を教えてください。（該当するものすべてに○）

1. 認知度が低いから      2. 利用者が少ないから  
3. 協賛金によるインセンティブ（メリット）が魅力的ではないから  
4. 元々地元への協賛等をしていないから  
5. その他（\_\_\_\_\_）



↓↓↓ 問1で2. 3. を回答した人のみ(問6) ↓↓↓

問6 どうなれば協賛金へ前向きになりますか。(該当するものすべてに○)

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 認知度が高くなれば                                    | 2. 社会実験運行時より利用者が多くなれば |
| 3. 協賛金によるインセンティブ(メリット)が魅力的になれば<br>(具体的に: _____) |                       |
| 4. 今後地元への協賛等に前向きになれば                            |                       |
| 5. その他 ( _____ )                                |                       |

II 貴社(ご回答者様)についてお尋ねします。

今後、チョイソコやとみを本格導入することになった場合に、協賛金(エリアスポンサー)への協力についてご相談をさせていただければと思います。その際に、以下の回答内容を活用させていただきます。記載にご協力ください。

問7 それぞれについてご記入ください。

問7-1	店舗・施設名、企業名	
問7-2	所属・役職	
問7-3	担当者名	
問7-4	住所	〒
問7-5 連絡先	TEL	
	メール	

問8 業種について以下の選択肢よりお選びください。(1つだけに○)

- |                           |                     |          |
|---------------------------|---------------------|----------|
| 1. 医療(病院・医院・クリニック・眼科・歯科等) |                     |          |
| 2. 商業(スーパー・食料品店・薬局・飲食等)   | 3. 金融(銀行・信用金庫等)     |          |
| 4. 介護・福祉                  | 5. 公共サービス           | 6. 建設・製造 |
| 7. 教育                     | 8. その他(具体的に: _____) |          |

問9 チョイソコやとみの社会実験運行中に停留所を設置していましたか。(1つだけに○)

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 設置していた | 2. 設置していなかった |
|-----------|--------------|

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

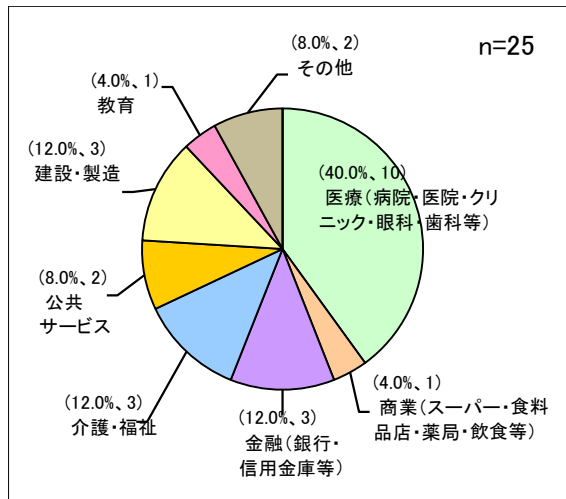
令和6年2月13日(火)までにご投函ください。



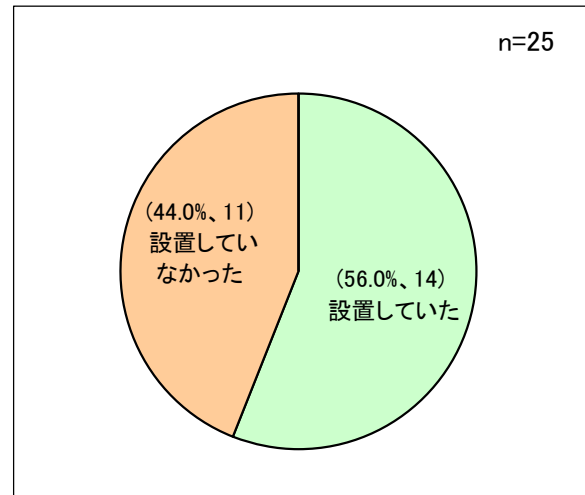
### (3) 調査結果

#### 1) 回答者属性

- 医療（病院・医院・クリニック・眼科・歯科等）からの回答が多い。
- チョイソコやとみの社会実験運転中に停留所を設置していた事業者からの回答が多いが、設置していなかった事業者からの回答も同程度みられる。



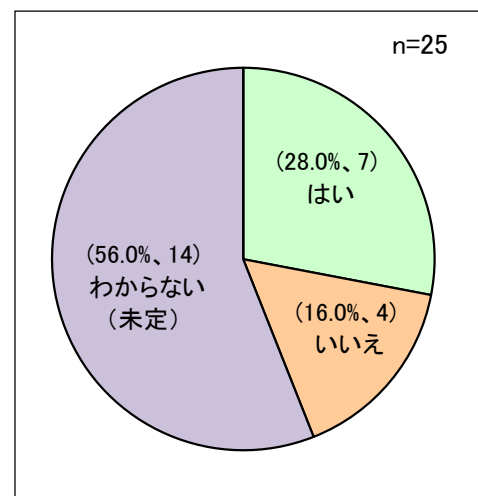
図：業種



図：社会実験運行での停留所の設置有無

#### 2) 協賛金への協力意向

- 「わからない(未定)」の回答が一番多く、「はい」は7件(28.0%)となっている。
- 社会実験運行での停留所の設置有無別の協力意向を確認すると、「はい」と回答した7件のうち、4件が設置事業者、3件が非設置事業者で、設置していなかった事業者からの協力意向もある。



図：協賛金への協力意向

設問	選択肢	全体		チョイソコやとみの社会実験運転中に停留所を設定していましたか			
		件数	割合	1. 設置していた		2. 設置していなかった	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
問1 チョイソコやとみを本格導入した際にエリアスポンサーとして協賛金にご協力いただけますか。	1. はい	7	28%	4	29%	3	27%
	2. いいえ	4	16%	2	14%	2	18%
	3. わからない(未定)	14	56%	8	57%	6	55%
	計	25	100%	14	100%	11	100%

図：協賛金への協力意向（社会実験運行での停留所の設置有無別）

### 3) 協賛金へ前向きな理由（協賛金への協力意向で「はい」を答えた人のみ）

- 意見として、「チョイソコユーザーと施設利用者が一致すると想定されるから」「経済（地域経済）の正しい循環のため」「地域貢献のため」「弥富市活性化のため」等があった。

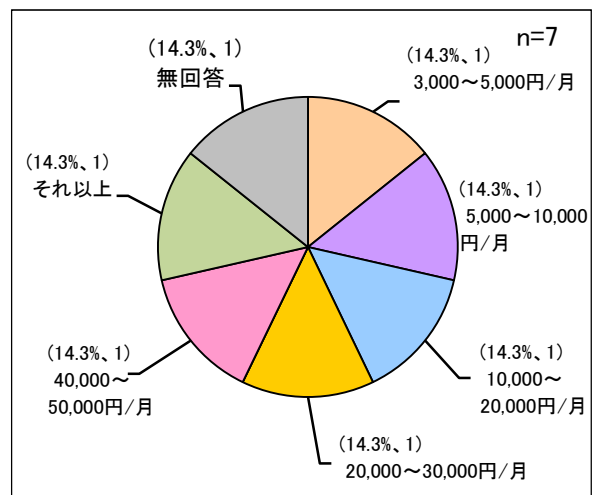
表：回答結果一覧（全文）

チョイソコやとみユーザーさんと弊社利用者様 想定が重なるため
すみません。知識不足でよくわかりませんが、豊明市とは違い、弥富市ではエリアスポンサーだけで運営するのは難しいのではないかと思います。もちろん導入されれば協力させていただきます。
経済（地域経済）の正しい循環のため
地域貢献の一環として協賛したい
弥富市活性化のため
前向きというより、地域企業が任うべきコストだと思います。人口減少や高齢化、魅力あるまちづくり、ウェルビーイングと行政負担のバランス等、複雑に絡み合う象徴的な地域課題が「公共交通サービス」だと思いますが。協賛金の協力によりオンデマンドの乗合交通によるサービス実現が可能となるのであれば。

※回答者の回答をそのまま記載

### 4) 支援できる具体的な協賛金額（協賛金への協力意向で「はい」を答えた人のみ）

- 「3,000～5,000円/月」から「40,000円～50,000円/月」まで、幅広い回答があった。
- 「それ以上」の回答もあったが、具体的な金額の回答は無く、「ユーザー数とPR方法による」との回答があった。



図：支援できる具体的な協賛金額

### 5) 例以外で魅力を感じるインセンティブ（協賛金への協力意向で「はい」を答えた人のみ）

- アンケート調査案内文に記載のインセンティブ例の他には「協賛企業と利用者の両方にメリットがあること」や「高齢者の交通事故防止」、「市内のコミュニティの拡大」等が挙げられた。

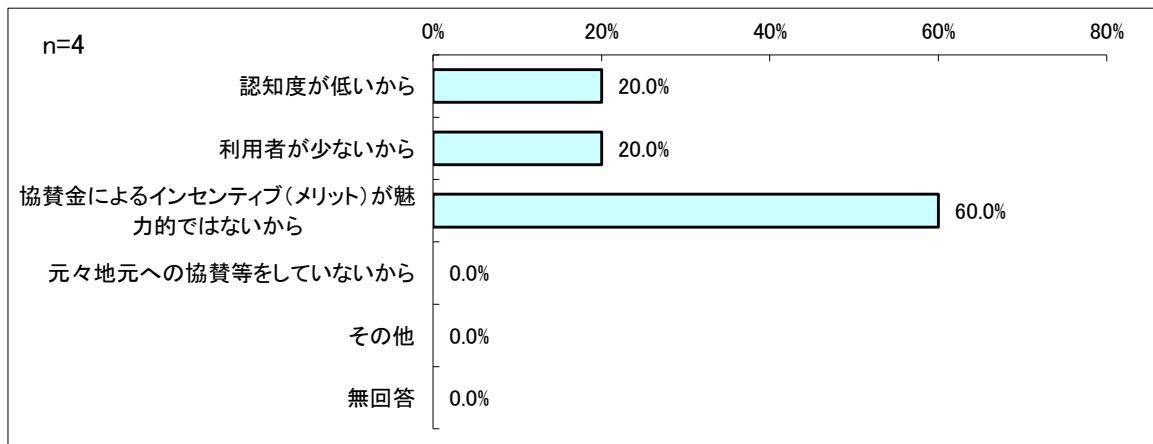
表：回答結果一覧（全文）

協賛企業にメリットがあるのと同様に、利用者にもメリットがあるということがインセンティブ
高齢者の交通事故防止、弥富市内のコミュニティの場が拡大

※回答者の回答をそのまま記載

## 6) 協賛金に前向きでない理由（協賛金への協力意向で「いいえ」を答えた人のみ）

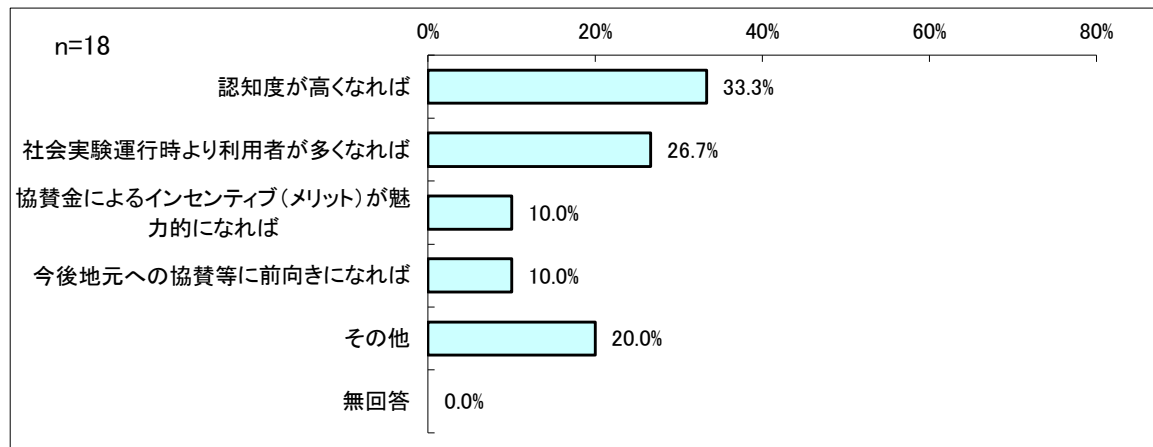
- 協賛金に前向きでない理由としては、「協賛金によるインセンティブ（メリット）が魅力的でないから」が一番多かった。



図：協賛金に前向きでない理由

## 7) 協賛金に前向きになるには（協賛金への協力意向で「いいえ」「わからない」を答えた人のみ）

- 協賛金に前向きになるために求めることとして、「認知度が高くなれば」「社会実験運行時より利用者が多くなれば」が多かった。
- 「その他」の意見として、「十四山地区が対象エリアになれば」という意見もあった。



図：協賛金に前向きになるために求められること

表：「その他」の回答結果一覧（全文）

金額によって優先できる、差別化
現在、当院の利用者が過剰になっている状況なので、広報を目的としたインセンティブはあまり必要としていない
十四山地区が対象エリアになれば

※回答者の回答をそのまま記載

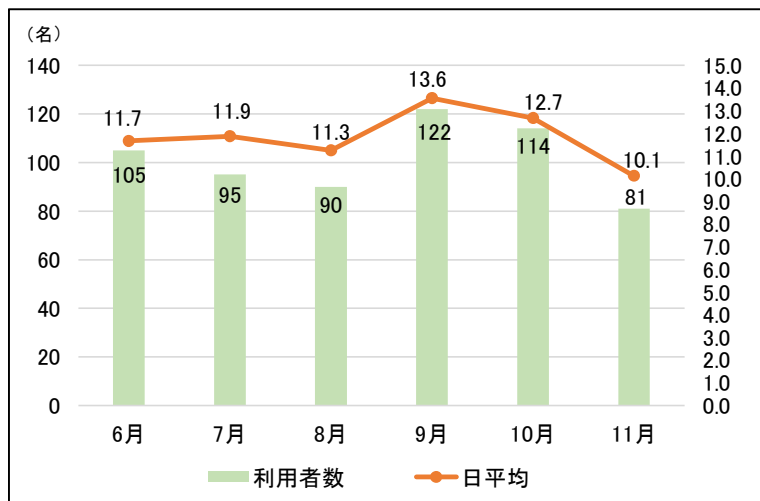
### 1-3 社会実験運行の結果

第3期社会実験運行の結果を以下に示す。

表：第3期社会実験運行の結果

	結果	考察
社会実験中の公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ デマンド交通の利用者が一定数いる(11.9人/日)。</li> <li>✓ きんちゃんバスの南部ルート利用者が増加している。</li> <li>✓ 公共交通全体として、利用者が増加した(新たに公共交通を利用する人を発掘した)。</li> <li>✓ デマンド交通の利用者は、高齢者が多い。</li> <li>✓ デマンド交通の利用目的は、「買い物」「公共施設への用事・利用」「通院」が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 依然としてきんちゃんバス南部ルートの1便あたりの利用者数は多く(デマンド交通への転換が起きなかった)、輸送力の小さいデマンド交通では代替となり得ない可能性が高い。</li> </ul>
協賛金意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 具体的な金額について、最大で115,000円/月の意向がある。(1,380,000円/年)</li> <li>✓ 協賛金に前向きになるためには、「認知度が高くなれば」「社会実験運行時より利用者が多くなれば」が多い。また、「十四山地区が対象エリアになれば」という意見もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 協賛金への一定の協力意向が確認されたが、より多くの協力を得るには認知度や利用実績等の地域への浸透度が重要である。</li> </ul>

#### 【参考 (チョイソコやとみの利用実績)】



図：チョイソコやとみの利用者数

#### 【参考 (経費関係)】

表：チョイソコやとみときんちゃんバスの運行経費

チョイソコやとみ(南部地域)	きんちゃんバス(全ルート)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行経費：7,304,170円</li> <li>※協賛金意向分(1,380,000円/年)を差し引いた額</li> <li>・利用者1人あたりの運行経費：12,033円</li> <li>※期間利用者(607人)をもとに算出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行経費：107,591,000円</li> <li>※第2期南部地域社会実験運行分の経費を含む</li> <li>・利用者1人あたりの運行経費：1,457円</li> <li>※第2期南部地域社会実験運行分の利用者を含む</li> </ul>

## 1-4 今後の展望

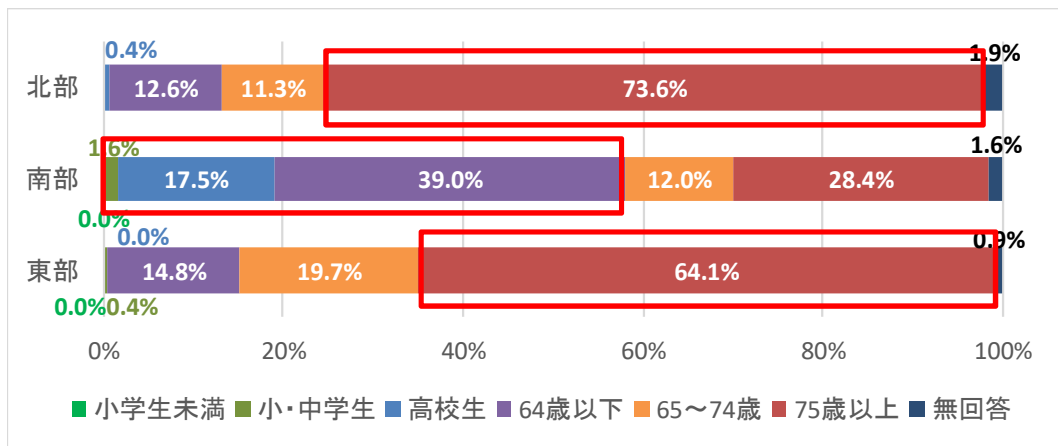
第3期社会実験運行の結果やきんちゃんバスのルート（運行地域）ごとの利用特性、地域特性等から検討した、公共交通網の再編に関する今後の展望は以下のとおりである。

- ・ デマンド交通の輸送力や運行経費、南部ルートの利用実績等から総合的に判断した結果、南部地域ではデマンド交通を導入せず、**きんちゃんバスの既存の運行ルートの見直しを中心に**再編案を検討する。（通勤通学もターゲットとした再編の検討）
- ・ 第3期社会実験運行で得たデマンド交通の利用者層・目的の利用特性や、協賛金の意向のほか、現在のきんちゃんバスの利用状況・特性を踏まえると、北部・東部地域でのデマンド交通の導入が適している可能性がある。そのため、この北部・東部地域において、最新のきんちゃんバスの利用特性や、住民意見交換会等により住民意向も把握しつつ、**デマンド交通の導入を視野にいたった再編案を検討**する。（高齢者を中心とした買い物、公共施設利用、通院目的等の利用をターゲットとした再編の検討）

### 【参考（きんちゃんバスの利用特性）】

#### ■利用者の年齢層

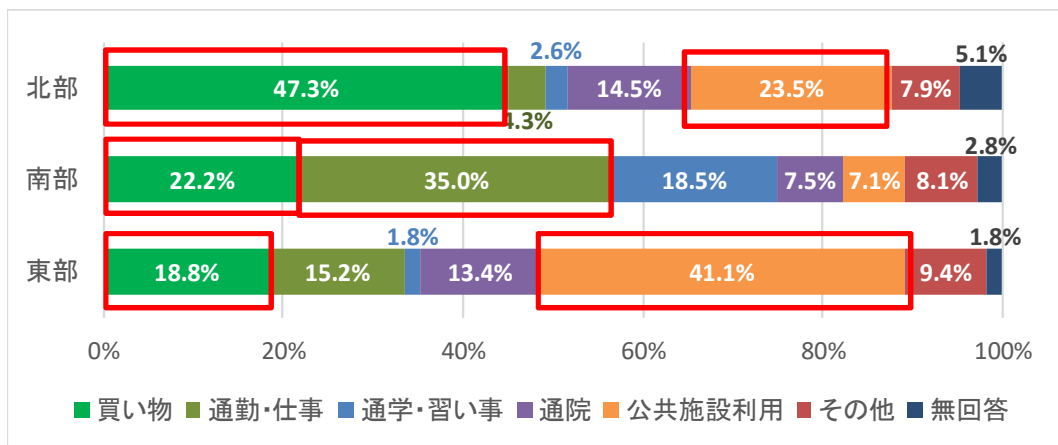
- ・ 北部ルートと東部ルートは65歳以上の利用が全体の80%以上を占めており、高齢者の利用が多い。
- ・ 南部ルートは他のルートに比べて、64歳以下や高校生の利用が多い。



図：きんちゃんバス利用者の年齢層

#### ■利用目的

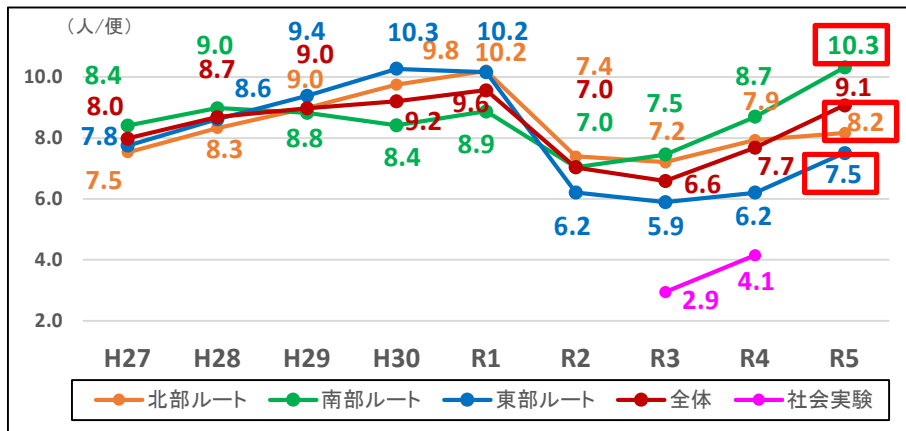
- ・ 北部ルートは買い物利用が一番多く、次いで公共施設利用が多い。
- ・ 南部ルートは通勤・仕事の利用が一番多く、次いで買い物利用が多い。
- ・ 東部ルートは公共施設利用が一番多く、次いで買い物利用が多い。



図：きんちゃんバスの利用目的

■各ルートの1便あたり乗車人員（令和6年2月末時点）

- ・南部ルートは1便あたり約10人の乗車人員がいる。（令和5年度）
- ・北部・東部ルートの1便あたり乗車人員は約8人で、南部ルートより1便あたり2人少ない。（令和5年度）

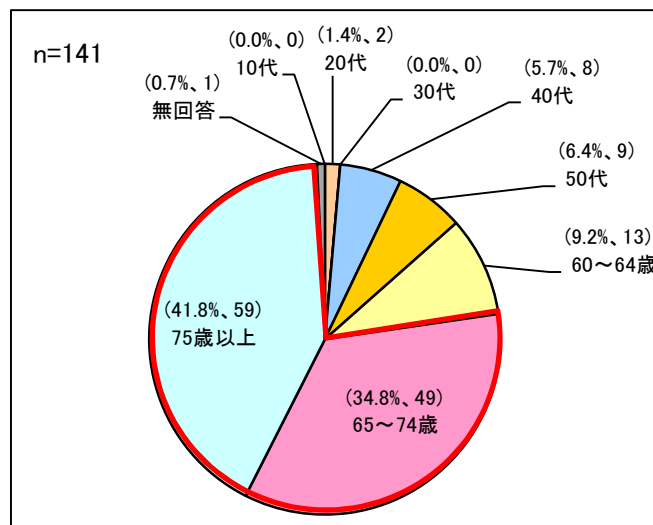


図：各ルートの1便あたり乗車人員（令和6年2月末時点）

【参考（チョイソコやとみの利用実態）】

■会員登録者の年齢層

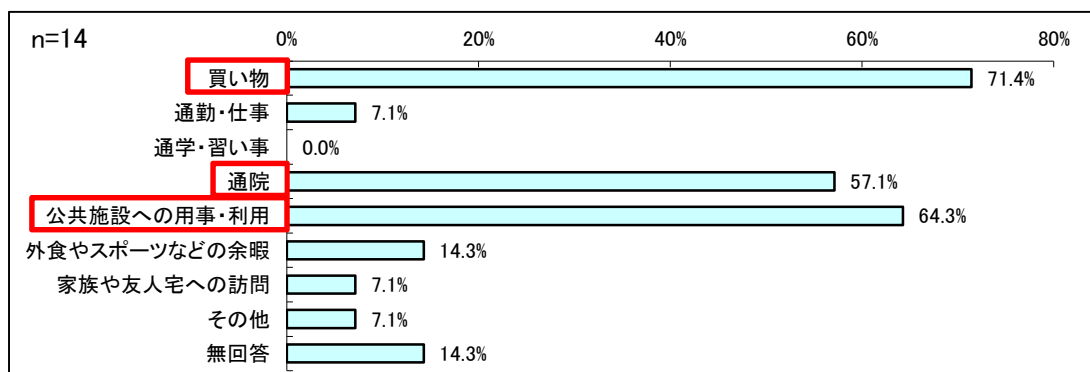
- ・会員登録者のうち、75%以上が65歳以上となっている。



図：チョイソコやとみ利用者の年齢層

■利用目的

- ・チョイソコやとみの利用目的について、「買い物」「公共施設への用事・利用」「通院」が多い。



図：チョイソコやとみの利用目的